

【日経225】 G20は決め手難、円じり安なら日本株もじり高に

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
日経225	15,753-16,472円	15,750-16,750円	13,000-18,000円

日経平均株価は、1万6,000円台中盤で底固い展開になっている。為替市場で円高圧力が一服する中、日本株を売り込む動きも一服している。ただ、引き続き海外原油相場が不安定な値動きを見せていることもあり、投資家のリスク選好性が十分に回復したとは言い難く、底固いものの明確な方向性を打ち出すには至っていない。

2月26~27日には20カ国・地域 (G20) 財務相・中央銀行総裁会議が開催され、国際協調路線を打ち出すことには成功している。しかし、即効性のある具体的な政策対応などについての合意形成は進まなかった一方、通貨安誘導については日本に対しても含めて批判の声が強く、目先は日本銀行が更に大規模な金融緩和に踏み切ることは更に難しくなっている。これを手掛かりに日本株に失望売りが膨らむような動きは限定されているが、改めてリスクオンの地合に転換を迫るような内容とは評価できない。株価動向に対する影響は一時的、限定的なものに留まろう。

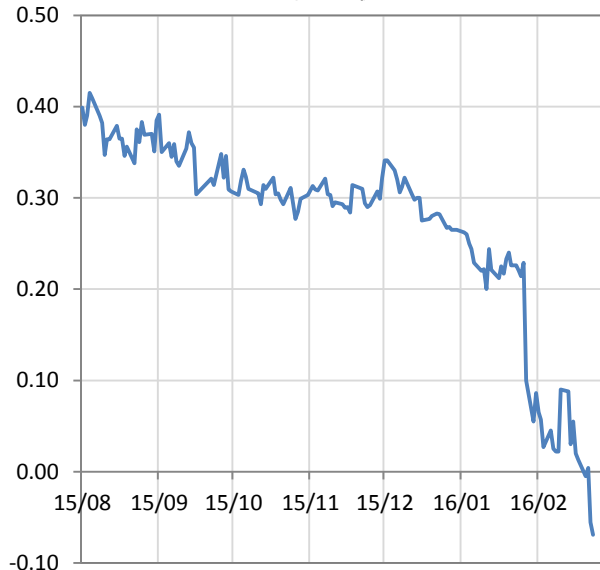
やや手掛かりに乏しい相場環境だが、目先は円安の持続力が問われることになる。3月4日には2月米雇用統計の発表が控えており、良好な米指標を手掛かりにドル高・円安傾向を強めていくことができれば、日経平均株価も1万6,000円台後半にコアレンジ切り上げが打診されよう。ただ、円サイドの大きな動きなくしては円安・ドル高ペースは抑制されたものに留まる可能性が高く、必然的に日経平均株価の上昇余地も限定されたものに留まる見通し

テクニカルでは、一目均衡表の基準線 (1万6,385円) 突破を打診する展開に。同水準をブレイクできれば、雲下限の1万7,405円がターゲットに。一方、支持線は1万6,000円が強く、ここを下抜けすると再び1万5,000円の節目が意識される。サイコロジカルは、前週の5勝7敗から6勝6敗に。14日RSIは48.07。

<< 日経225 日足 >>



<< 日本10年債利回り >>



本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。
Copyright © Marketedge Co., Ltd.

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。東京商品取引所認定・上級知識修得者（貴金属、石油、ゴム、農産物）。

E-mail: kosuge@marketedge.co.jp

Twitter @kosuge_tsutomu